

# 千里ライフサイエンスフォーラム開催のお知らせ

## 2022年7月フォーラム(第347回)

- 収録日時：2022年7月14日(木) 18時00分～19時00分  
※新型コロナウイルス感染拡大のため、懇親会は中止といたします。何卒ご了承願います。
- 開催形式：千里ライフサイエンスセンタービル6F 千里ルームAにて会場参加と講演収録。後日期間限定で録画配信
- 配信対象：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)
- 講師：岸本 忠三 先生(きしもと ただみつ)  
(公益財団法人)千里ライフサイエンス振興財団 名誉理事長
- テーマ：IL-6 物語；リウマチからコロナへ
- 講演要旨：

血液細胞をはじめとして、60兆個に及ぶ生体の細胞が情報を伝達しあう分子、それがサイトカインと呼ばれるものである。インターロイキン-6(IL-6)は、そのサイトカインの代表例の1つである。我々の体のどこかに炎症や癌が出来た時、このIL-6が増加し、CRPや血沈といった検査結果が上昇する。このように、IL-6は生体に炎症を引き起こす“炎症性サイトカイン”と呼ばれる分子であり、リウマチをはじめとして多くの炎症の原因分子である。従って、IL-6の作用をブロックすることによって炎症を抑えることが出来る。IL-6受容体をブロックする抗体—アクテムラーを用いることによって、リウマチは改善する。

興味あることは、リウマチや血管炎のような慢性の炎症のみならず、IL-6の作用をブロックすることは敗血症のような急性のショック症状の改善ももたらす。

例えば、コロナ感染による重症の肺炎ではIL-6の増加が起こり、これが血管の透過性を亢進させ、血液凝固を引き起こし、いわゆる“サイトカインストーム”と呼ばれるショック状態を引き起こす。これに対してIL-6の働きをブロックするアクテムラは、効果を発揮し患者を死から救う。

ここでは、IL-6の発見からアクテムラの開発、いくつかの病気に対する治療効果について語る予定である。

### ● 講師プロフィール：

学歴：大阪大学医学部。大阪大学大学院医学研究科。

職歴：1970～74 米国ジョンス・ホプキンス大学研究員及び客員助教授。1979年大阪大学医学部教授(病理病態学)、1983年大阪大学細胞工学センター教授、1991年大阪大学医学部教授(内科学第三講座) 1995年大阪大学医学部長、1997年大阪大学総長、2004年大阪大学名誉教授、2004～06年内閣府総合科学技術会議常勤議員、2007年(財)千里ライフサイエンス振興財団理事長

専門分野：免疫学

主なる著書：現代免疫物語、いのちの不思議、免疫難病の克服を目指して

主なる講演テーマ：免疫に関わる多機能な分子、インターロイキン-6(IL-6)の発見と研究

参加対象/参加費：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)/無料

録画配信希望のお申込はご不要です。録画配信の準備が整い次第、視聴方法の案内メールを送らせていただきます。

申込先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団「千里ライフサイエンスフォーラム」担当

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 Tel: 06-6873-2006 Fax: 06-6873-2002

E-mail: srlf-forum@senri-life.or.jp (HP: <https://www.senri-life.or.jp/>)